

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 10 日

評価対象事業		評価者	農水課長	茂木 健太郎
市民-24	実施事業	漁港施設管理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 農水課(産業振興課) 関連課
総合計画上の位置付け	分野	産業振興	施策の方針	農業・漁業の振興

1 事業の目的

対象	漁業従事者等
意図	腰越漁港施設の良好な維持管理を行うため。
効果	円滑な漁業活動の推進を図る。

2 平成29年度に実施した事業の概要

漁港施設維持運営計画に基づき、漁港施設の維持管理を行った。 腰越海岸の飛砂防止のための海浜整地業務や、必要な漁業施設整備を行った。 漁港施設の長寿命化や更新コストの平準化及び縮減を図るため、機能保全計画を策定した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	3,708	13,176	当初予算(千円)	120,327			
	国県支出金		5292	国県支出金	58,789			
	地方債			地方債				
	その他	2,223	72	その他	2,076			
	一般財源	1,485	7,812	一般財源	59,462			
	人員配置数	0.9	1.0	人員配置数	1.0			
	人件費(千円)	6,853	7,728	人件費(千円)	7,794			
事業経費運営	総事業費(千円)	10,561	20,904	総事業費(千円)	128,121			
	市民1人当りの経費(円)	60	118	市民1人当りの経費(円)	727			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
					事業へ統合

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	漁港施設の長寿命化や更新コストの平準化及び縮減を図る機能保全計画に基づき、腰越漁港1号泊地の浚渫に必要な経費を計上している。
----------	---	--------------------	--

総評(評価に対する考え方、根拠等)	腰越漁港については、平成26年度に改修整備工事が完了し、今後は市が適正に維持管理を行う必要があるため、事業費を削減する余地は無い。 腰越漁港を利用した漁業活動による水産物の供給は、市民ニーズも高いことから、今後も漁港施設の良好な維持管理を継続させていく必要がある。 腰越漁港の指定管理者である腰越漁業協同組合とは常に連携し業務を行っているが、市民利用も踏まえた漁港の有効利用や受益者負担の可能性については、今後更なる協議が必要である。 市民等との協働については、指定管理者制度を導入している観点から、現時点での実施は難しいものと考えている。
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	腰越漁港を適切に維持管理していくために機能保全計画を策定する。 腰越漁港1号泊地の浚渫工事に向けて、県等と必要な協議を行う。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	機能保全計画の策定に向けて、県に対して補助金の申請等の必要な手続きを行った。 機能保全計画を策定した。 機能保全計画に基づく同1号泊地の浚渫工事に向けて、県と協議を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	機能保全計画に基づいて、将来にわたり腰越漁港の適正な維持管理を図っていく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	県内近隣市町の漁獲量(平成28年海面漁業生産統計調査より)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	171トン	1,114トン	95トン	591トン	1,301トン	5,837トン	43トン	58トン	17,611トン

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内他市町との漁獲量を比較すると、多い市と少ない市町との差が大きく、その中で本市の漁獲量は少ない市の部類に入っている。引き続き、本市の漁獲量が減少しないように、市として様々な支援策を実施する必要がある。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	腰越漁業協同組合の正会員数					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
漁業活動を担っている主体であるため。	目標値	40	40	40	40	40		40		
	実績値	39	40	42	42					
	達成率	97.5%	100.0%	105.0%	105.0%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	腰越地域の漁業活動の担い手や後継者不足を招かないように、今後も様々な支援策を実施していく。
-----------------------	---